

ウタセ真鯛釣り仕掛けについて考える

1 はじめに

功成丸では、2019年10月の消費税アップに伴い、料金は据え置くものの、仕掛けのサービスがなくなりました。船長にハリスの長さを聞いたところ、「タテ釣りでは10cmのハリスに喰ってくるのだから短くて良い。ハリス100cmで十分だろう。枝間は150cm。」ということでした。。しかし、功成丸でもらった以前のサービス仕掛けはハリス150cmでした。

ウタセ真鯛釣りの仕掛けについて考えることにしました。

2 結論

○使いやすさという観点から、「釣果に影響せず、できるだけ短いハリス」、「釣果に影響せず、できるだけ太いハリス」を考え、ハリス150cmと100cmを用意して、再度、試してみることにした。

○ただし、春先の乗っ込み大ダイ狙いには不向きであろう。

- ハリス100cm 枝間150cm
- ハリス150cm 枝間200cm

3 これまでの仕掛けと釣果からの考察

(1) これまでの原則

伊三丸の船長や先輩から教わり、原則、次のような仕掛けで釣ってきた。

ハリス 5号 2m 幹糸 5号 2m10cm 捨糸 3号 50cm

(2) ハリス120cmと150cm (2019年10月27日の日記から)

功成丸船長に、「タテ釣りでは10cmのハリスに喰ってくるのだから短くて良い。ハリス100cmで十分だろう。枝間は150cm。」と教えてもらい、ハリス120cmと150cmで試してみた。

自分 ハリス5号 120cm : マダイ ~32cm 10尾

ツレ ハリス5号 150cm : マダイ ~32cm 7尾

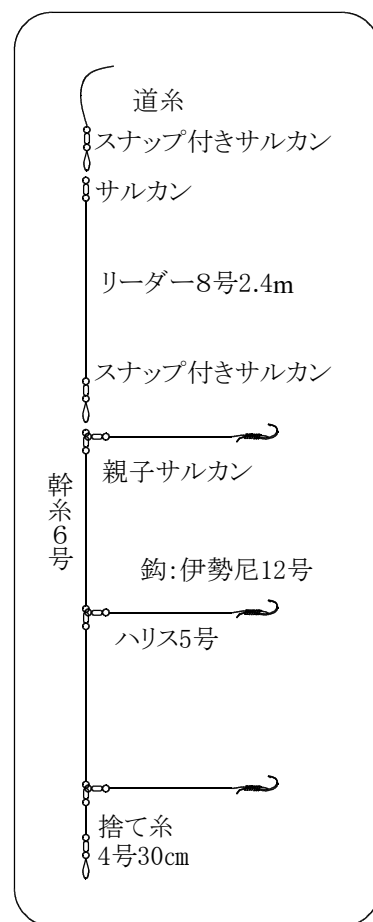
○自分のハリスは120cmでツレのハリスは150cmだった。ツレはハリスがよれていた、絡んでいたりすることが多かった。これを直すために、仕掛けを投入するまでの時間が長くなったとのこと。仕掛けが長かったことが要因であろう。

○今回、ハリスの長さに釣果の差が感じられなかった。むしろ、短い方が良かった。仕掛けを直す手間は短い方が良いし、扱いやすい。また、今回教えてもらった釣り方では短い方が有利であろう。

○隣の人はハリスが長く太い。ハリスは太い方が扱いやすい。

(3) 功成丸における釣果とハリスの長さ

二人で	マダイ	~44cm	17尾	ハリス5号	175cm(自作仕掛け)	2019年10月20日
自分 :	マダイ	~32cm	10尾	ハリス5号	120cm(自作仕掛け)	2019年10月27日
ツレ :	マダイ	~32cm	7尾	ハリス5号	150cm(自作仕掛け)	2019年10月27日
二人で	マダイ	~38cm	18尾	ハリス5号	150cm(サービス仕掛け)	2018年10月20日
二人で	マダイ・チダイ	~34cm	24尾	ハリス5~6号	50cm(サービス仕掛け)	2017年10月10日



(4) ハリスの長さ

- これまで、前の船長に言われ、長い仕掛けを準備していた。餌が自然に動くようにとのこと。これは、大ダイ狙いなのではないだろうか。特に潮が大きいときは、ハリスは長い方がよいとも言われた。
- 市販仕掛けでは、ハリス200cm3本鉤、ハリス150cm3本鉤とハリス100cm3本鉤がある。
- キスの仕掛けでも、自作仕掛けでは全長が短い。手前祭りをなくす、お祭りしたときでも解きやすい、手返しが速くなるという理由から、2本鉤にして全長も短い。
- 船長が言うように、タイ(大ダイではないタイ)やワラサ・カンパチを釣るには短い仕掛けでよいのであろう。
- ハリスは短い方が扱いやすい、当たりが分かりやすい。
- 強い風が吹く中、175cmのハリスを扱うことができた。
- 春は150cmで、秋は100cmで、という考え方もできるが…。(春は潮が大きい。)

→ ハリスは、150cmと100cmを用意して、再度、試してみよう。